

春夏 / 秋冬

2025.4 -
2026.3

世田谷 パブリック シアター

SETAGAYA
PUBLIC
THEATRE

『劇場は、広場。』

そして、『アートファーム』として。



世田谷パブリックシアター
芸術監督

白井 晃

劇場はもっと開かれた場でありたい。

それが私たちの願いです。

人が集い、語り、交流し、心通わせる。

こんな場が、今、随分と少なくなっていました。

だから、私たちは「劇場は、広場。」でありたいと考えています。

距離があると、人は他者のことを身近に感じることができなくなり、心無い言葉で傷つけたりします。それは、距離があるからです。

目の前に、「あなた」がいること。そして、その「あなた」と語り合い、触れ合い、感じ合うことができれば、誤解も、諍いも、傷つけ合いも避けることができるはず。劇場は、一方通行の場所ではありません。共に考え、共に感じる場です。そして、「これから先の時間」を生み出し、育てていく場所でもあるのです。

「芸術」とは、日頃の生活から感じ得ない、感情を呼び起こすものです。

共感や驚き、悲しみや喜びを感じて、今の世界や、社会を見つめ直すことができます。

その「芸術」を生み出す場として、世田谷パブリックシアターは、劇場の扉を開いていきたいと思えます。皆さんと共に、芸術を考え、種を蒔き、見守り、育てていく。

劇場は、常に開かれた「アートファーム」なのです。

劇場は、広場。

劇場は、語り、

劇場は、交わり、

劇場は、考え、

劇場は、遊び、

劇場は、創り、

劇場は、生み出す。

劇場は、あなたのためにある場所です。

チケット購入のご案内

世田谷パブリックシアター
チケットセンター
キャロットタワー5階
Tel. 03-5432-1515
10:00-19:00
年中無休(年末年始を除く)

世田谷パブリックシアター オンラインチケット

(要事前登録・24時間受付)
<https://setagaya-pt.jp/membership/online/>



鑑賞サポート

世田谷パブリックシアターでは、各種鑑賞サポートを行っています。

- 託児サービス
- 車椅子スペース
- 視覚障害者のための舞台説明会
- 補助犬を伴っての観劇
- 聞こえにくい方向への音声サポート
- 聴覚障害者のための上演台本貸出など

※ 特定の公演のみをご用意しているサービス、事前予約が必要なもの、定員のあるサービスもございます。詳しくは劇場HP内各公演ページをご覧ください。下記「鑑賞サポート」ページ内のサービス内容に記載している窓口へお問い合わせください。

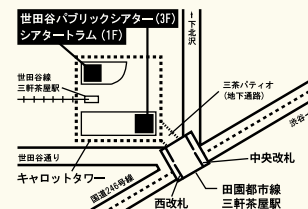
※ 劇場ロビーには、筆談器をご用意しています。

- 鑑賞サポートについて
<https://setagaya-pt.jp/guide/support/>



アクセス

三軒茶屋駅 直結
[東急田園都市線(渋谷より2駅・5分)・東急世田谷線]
〒154-0004
世田谷区太子堂4-1-1
キャロットタワー内



お問い合わせ

世田谷パブリックシアター
Tel. 03-5432-1526
HP <https://setagaya-pt.jp/>



世田谷パブリックシアター
SETAGAYA PUBLIC THEATRE



撮影：細野晋司

2025年度 主催公演ラインナップ

恒例の企画から注目の国内新作舞台、
話題の海外招聘作品など多彩にお届けします。

『フリーステージ2025』 4-5月

開場以来、区民の表現のための開かれた場づくりを目指して、世田谷区内で活躍する文化団体の皆さんと、劇場スタッフが力を合わせて創り上げるGW恒例の夢のステージ。今年も、さまざまなジャンルの音楽、ダンスで多彩なステージをお届けします。

『みんな鳥になって』 6-7月

『炎 アンサンディ』『岸 リトラル』『森 フォレ』に続く“ワジディ・ムワド × 上村聡史”の第4弾は、若き科学者のルーツを軸に、現代を照射する壮大な物語。民族紛争の辛い現実とそれでも抱く未来への夢を力強く美しいセリフで綴る本作を、豪華競演でおおくりします。

『せたがやアートファーム2025』

世代の垣根なく多様な芸術と触れ合う、アートで満たされた夏の「農園」！

『キャプテン・アメイジング』 7-8月

当劇場主催公演初登場で、今注目を集めている演出家・田中麻衣子が、英国の気鋭劇作家による一人芝居を演出。マントをまとった地味で冴えないスーパーヒーローの男とその娘の、陽気で切ない6年間の物語を、個性の異なる魅力的なトリプルキャストで上演します。

『せたがや 夏いちらくご』 7月

当代きっての人気落語家・春風亭一之輔による、幅広い層が寄席のにぎわいを楽しめる恒例の企画。昼の部は子どもたちにもおすすめの入門編、夜の部は初めて落語に触れる人はもちろんツウも満足できる本格的な落語会で、一之輔の珠玉の落語をご堪能ください。

アロフト・サーカス・アーツ『ブレイブ・スペース』 7月

アメリカの人気サーカスカンパニーが待望の初来日！劇場の中にテントをたてることから始まり、観客は床に座ったり寝転んだり、時にはポールを支えたり組み立てたりしながら、美しくもスリリングなパフォーマンスを間近で体感。参加型で楽しめる特別な1時間です。

to R mansion『走れ☆星の王子メロス』(提携公演) 8/9(土) - 11(月・祝) 世田谷パブリックシアター

『あたらしい国際交流プログラム』

リーディング公演『不可能の限りにおいて』 8月

当劇場初演出作『建築家とアッシリア皇帝』も高評を得た新鋭・生田みゆきが3年ぶりに登場。「紛争地域から生まれた演劇」シリーズなどにも取り組む生田の演出で、人道支援従事者の証言をもとにしたポルトガル人劇作家の作品をリーディング形式でおおくりします。

ピーピング・トム『トリプティック』 9月

各国に熱狂的なファンを持つダンスカンパニーが2年半ぶりに来日し、その魅力が凝縮された三部作を上演。洋上の客室で、ひと癖もふた癖もある男女がおりなす不吉な一夜を、脅威の身体能力と独創的な世界観で描き出します。

世田谷アートタウン2025『三茶de大道芸』 10月

延べ20万人が訪れる秋恒例のフェスティバル！国内外で活躍する大道芸人が街のいたるところでパフォーマンスを繰り広げ、商店街自慢の模擬店も登場。三軒茶屋がちょっと風変わりな「アートタウン」に変貌する2日間です。

世田谷アートタウン2025関連企画 10月

カンパニー・ループリエ / ラファエル・ボワテル

『Ombres Portées / キャストシャドウ』

光と音、独自の装置を駆使した唯一無二のスタイルで現代サーカス界を牽引するラファエル・ボワテルが、自身のカンパニーとしては6年ぶりに来日。迫力あるサーカスアクトとともに紡ぐ、秘密と不穏な影をまとった家族の物語。

『シッダールタ』 11-12月

ヘルマン・ヘッセが自我への探求を深めた傑作「シッダールタ」を、長田育恵劇作、白井晃演出の初タッグで舞台化！「デーミアン」の世界観を織り

交ぜながら、自我が向かう先、そして人間の存在とは何かという命題に挑む壮大な物語。

シアタートラム・ネクストジェネレーションvol.17-フィジカルー 12月

高橋萌登・MWMW(モウイモウイ)『新作公演』

若い才能を発掘・育成するシリーズ2回目のフィジカル部門に選出されたのは、振付家・ダンサーの高橋萌登率いるダンスカンパニー。場所と人との関わりを探求する新作で、高橋が生み出す新しいダンス世界をお楽しみください。

『黒百合』 2月

現代劇から古典演出まで、独自の感性と確かな構成力に定評のある杉原邦生が当劇場主催公演初登場。「カムカムエヴリバディ」(NHK)などで知られる藤本有紀の脚本で、幻の黒百合を巡る泉鏡花の一大ピカレスクロマン劇を初舞台化！

音楽劇『コーカサスの白墨の輪』 3月

演劇からミュージカルまで手掛け、いずれも名だたる演劇賞に輝くなど勢いに乗る瀬戸山美咲が、プレヒトの名作を演出。普遍的な寓話を未来の物語として再構成し、新たに創作した楽曲とともに、現代を映す音楽劇として立ち上げます。

『地域の物語2026』 3月

開場から続く市民参加プロジェクト。演劇のプロでない参加者全員が主体となり、さまざまな物事や人と向き合いながら従来のかたちにとられない演劇を創造。集大成としてシアタートラムでより多くの人々と対話します。

世田谷パブリックシアター フィーチャード・シアター

活躍が期待されるカンパニーを劇場がバックアップし、提携して公演を行います。

ストミック 新作音楽劇	11月	劇団普通 新作公演	12月
演劇 シアタートラム		演劇 シアタートラム	

2025年度 ダンス提携公演

ハラサオリ新作公演	6月
黒須育海・ブッシュマン新作公演	7月
Room Kids 新作公演	8月
山海塾公演	10月
OfficeALB/北村明子「X stream project」新作公演	11月
中川絢音・水中メガネ新作公演	2026年1月
Co.山田うん新作公演	2026年2月
鈴木竜×榎川寛子『いとなむ』	2026年3月



参加する

参加する

学生・専門家向けワークショップ・講座

大学生や舞台関係者を対象にした
専門家育成プログラム



「日程」通年開催

2025 演劇ワークショップラボ
演劇と劇場の可能性について、ファシリテーター、学校教員、福祉従事者、俳優、研究者、学生などがラボ研究員となって思考・実験する場。研究テーマを設け、新たな価値やアイデアを生み出すためのプログラムを展開しています。「レクチャー」「ゼミ」等の一部を公開。



「日程」8月・2026年2月

舞台技術講座
知識の習得、専門的なスキルの向上を目的に、舞台技術者やプランナー、デザイナーほか舞台芸術に携わるすべての人を対象に、実践をまじえた分野別（舞台技術、音響、照明）の入門・基礎講座や、テーマを絞ったセミナーなどを実施しています。また学生向けの劇場建築と構造を解説するプチ講座も開催を予定（不定期）しています。

知恵の収蔵庫

これまでに行ったシンポジウムやレクチャーの模様をまとめたアーカイブを劇場HPで公開しています。

出版物

CarroMag. (キャロマガ) 学芸プログラム通信
演劇ワークショップやレクチャーの活動報告を掲載。演劇ワークショップへの日々の取り組みを紹介。

劇場ツアー

「日程」4月・7月・10月・2026年1月
劇場をより身近な存在として感じていただけるよう、劇場を知り尽くしたスタッフならではの目線で、普段は見ることのできない場所や劇場の仕組みを案内しています。



地域連携プログラム

区内の学校や各種団体、他地域と連携して
実施しているさまざまな企画



「日程」通年

かなりゴキゲンなワークショップ巡回団
世田谷区立の小中学校からの依頼に応じて、児童・生徒、教員を対象にした訪問演劇ワークショップを実施。目的や希望に沿って相談しながら、演劇ワークショップを活用した授業づくりに取り組んでいます。



「日程」5〜6月
「脚本・演出」ソエ征爾
「出演」山本光洋 たにぐちいくこ
ソエ征爾

移動劇場あつとホーム公演『チャチャチャのチャリー〜』
劇場になかなか足を運ぶことができないお年寄りや障害のある方々が生活する場所へ、劇場から楽しいお芝居をお届けします。



「日程」通年

下馬地区アートプロジェクト
高齢化が問題となる都営下馬アパートを舞台に、地域の施設や団体と連携しながら、アートを通じた地域づくりを目的にした企画を運営。地域の方々が気軽に立ち寄って交流できる場所づくりや、アートを介してつながりをはぐくむ多彩なイベントを開催しています。

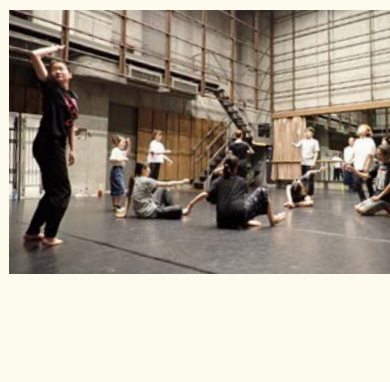
一般向けワークショップ

地域のさまざまな年齢層の人々が
興味に沿って参加できる多彩な企画



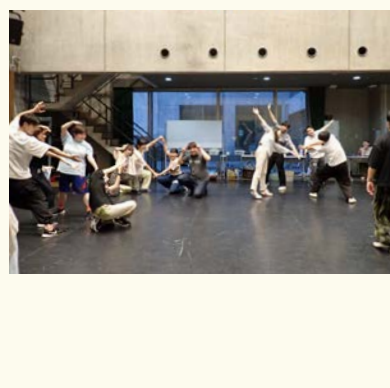
「日程」毎月開催

デイ・イン・ザ・シアター
各回テーマを設定し、思い立ったらどなたでも参加できる1日限り、1回2時間の「演劇&劇場」体験ワークショップ。「だれでもデイ」のほか、「おとなデイ」や「はじめましての人だけデイ」などを設け、大人から子どもまで多くの方が演劇や劇場に親しめる場となっています。



「日程」未定

世田谷パブリックシアターダンス食堂
当劇場で公演するアーティストを講師に迎え、トーク・ワークショップ・公演鑑賞のセットで、ダンスを「定食」のような形式で味わう企画です。創作秘話を聞いたり、ともに身体を動かすことで、直接アーティストの魅力に触れ、ダンスをより身近に感じることが出来ます。



「日程」未定

『地域の物語2026』ワークショップ
区民を中心とした演劇のプロでない幅広い層の参加者が、ワークショップを通してさまざまな物事や人と向き合い、全員が主体となって、従来のかたちにとられない演劇を創作。最後はシアター ترامでより多くの人々と対話を重ねます。

子ども向けワークショップ

子どもたちが舞台芸術と出会い、
楽しみながら創作できる機会を提供



「日程」毎月開催

子どもごちゃまぜ演劇ワークショップ
小学生から22歳までを対象とした演劇ワークショップ。さまざまな年齢の参加者たちが集まり、ごちゃまぜになって、設定されたテーマをもとに一緒に演劇をつくります。



「日程」4〜5月8月11月・2026年3月

世田谷パブリックシアター中学生演劇部
演劇にじっくり取り組みたい中学生が年間を通じて部活動のように参加できるワークショップ。いろいろな学校から中学生が集まり、各回設定したテーマをもとに、さまざまな演劇の要素を体験していきます。世田谷区立中学校演劇発表会に向けて、作品づくりも行います。

せたがやアートファーム2025
「日程」7〜8月

「せたがやアートファーム」の一環として、小学生/中学生/高校生を対象としたもののほか、「to R mansion『走れ☆星の王子メロス』オープニングアクト」や、生活工房による「せーかつぶれぶれこーぼー」など、ワークショップを多数開催。また、当劇場の活動に興味があり、舞台芸術を取り巻く仕事に触れてみたい方を対象としたインターンシップも実施します。